

開校から10年を迎えた

あきぎん長活き学校

長活きの秘訣を、学びあう。

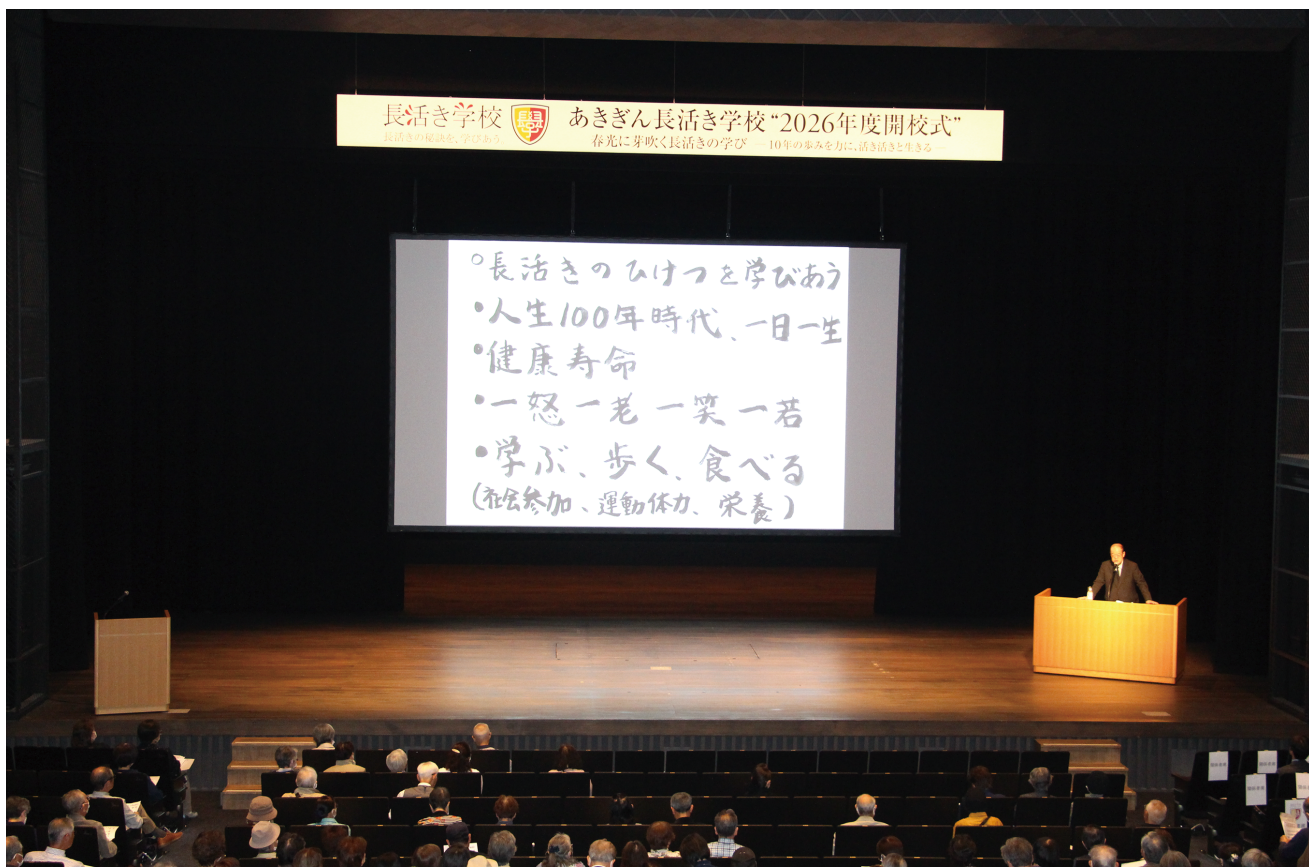
秋田銀行では、2015年に「あきぎんエイジフレンドリーバンク宣言 ―長活きする秋田へ―」を宣言するとともに、秋田市がスタートさせたエイジフレンドリー・シティ構想に基づくエイジフレンドリーパートナーの第1号事業者として認定をいただきました。

「長活き」とは、「生き活きと長く生きる」を意味する秋田銀行が創作した言葉です。日本一の高齢県である秋田県だからこそ、日本一「長活き」する高齢者の多い県になれるチャンスもある、そんな考えからスタートさせたものです。

宣言の制定からメイン事業として2016年4月に「あきぎん長活き学校」を開校し、今年で10年を迎えました。元文部科学省事務次官で、開校当時は国立博物館・館長に就任されていた秋田市出身の銭谷眞美氏から校長に就任いただきました。

今月号では、開校から10年を迎えた「あきぎん長活き学校」の2026年度開校式での銭谷校長による記念講演と、「あきぎん長活き学校」の10年間のあゆみを振り返る内容をお届けします。さらに、「あきた経済」4月号から表紙に水彩画を提供いただいている宮下正弘さんからは、長年医師として活躍されながら多くの水彩画を描いてこられた「長活き」の実践を、インタビューにより紹介しています。

秋田銀行が取り組む「長活き」プロジェクトについて関心を深めていただければ幸いです。



2026年4月17日 あきぎん長活き学校 “2026年度開校式”